

平成29年 3月31日

豊明市長 殿

申請者 所在地
団体名 ボランティア・フジタ
代表者名 代表 市原 慶和
電話番号

市民提案型まちづくり事業交付金実績報告書

平成29年 3月31日付け29指令豊市協第45号で交付決定を受けた交付金について、豊明市市民提案型まちづくり事業交付金交付要綱第15条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 交付決定された交付金の額 金 38,000 円

- 2 関係書類
 - (1) 事業活動報告書・写真等
 - (2) 事業収支決算書・領収書等の写し
 - (3) その他

事業活動報告書

団体名	ボランティア・フジタ
事業の名称	学生と市民の交流広場
実施した事業の内容 (活動内容、実施日時、場所、参加状況等)	7月2日に藤田保健衛生大学生涯教育研修センターB1で、豊明市区長連合会と学生ボランティア同好会(ボランティア・フジタ)が合同で、災害時炊き出し訓練を行った。多数の学生、区長・副区長及び豊明災害ボランティアネットワークの方も参加して実施された。第二回目として、10月22-23日に開催された藤田保健衛生大学の学園祭では、豊明市区長連合会を招待して災害時炊き出し訓練の一環として、災害用大鍋で豚汁を作った。
事業の成果や効果	合同炊き出し訓練では、藤田保健衛生大学の学生・教職員と豊明市区長連合会の皆さんとが交流する機会を作ることで、地域住民の皆さんと学生の絆を形成する機会を持てた。この訓練は、地域の活性化と学生の人間形成に大いに効果があった。このような機会を継続的に持つことは、学生と市民の皆さんが協働する力を育成し、災害時に役立つことが期待できる。
事業の反省点や課題等	10月の学園祭における炊き出し訓練は、豊明市区長連合会への連絡が直前になってしまい、参加者が極めて少なかった。また、豊明市が開催する防災訓練や、豊明災害ボランティアネットワークが企画するイベントに参加する学生がいなかったのは反省点として挙げられる。豊明市区長連合会と本学が直接連絡を取るか、両者の窓口のような仕組みがあることが望ましい。
今後における事業展開	豊明災害ボランティアネットワーク及び豊明市区長連合会とボランティア・フジタとの合同炊き出し訓練は、今回を含めて3回目であるが、今回のものが最も規模が大きかった。今後は定期的に合同訓練を実施したい。また、豊明市区長連合会と本学とが連絡を取る一つの手段として、アマチュア無線を活用することを計画している。本学に固定式もしくは移動式無線拠点を設置し、アマチュア無線に関するセミナーや研修会を実施して有資格者の育成を行いたい。
その他	特になし

事業収支決算書

収入			単位:円
科目	予算額	決算額	内訳 (積算根拠)
市交付金	38,000	38,000	
自己負担金 (会費等)	907	907	
事業収入 (受益者負担金)	0	0	
その他収入	0	0	
合計	38,907	38,907	

支出			単位:円
科目	予算額	決算額	内訳 (積算根拠)
第1回炊き出し訓練の消耗品	864	864	ゴムバンド等
第1回炊き出し訓練の食材等	14,537	14,537	無洗米等
第2回炊き出し訓練の消耗品	6,166	6,166	プロパンガス等
第2回炊き出し訓練の食材等	17,340	17,340	赤だし等
合計	38,907	38,907	